

合格めざし 45 人が受講

登録鉄筋基幹技能者講習 10月12～14日 エル・おおさかで

全国鉄筋工事業協会（全鉄筋、内山聖会長）の主催による「第49回登録鉄筋基幹技能者講習」が10月12～14日の三日間、大阪府中央区のエル・おおさかで実施され、45名が資格取得をめざして受講しました。

このうち、初日の12日には開催地を代表して全鉄筋の副会長でもある関西鉄筋工業協同組合の岩田正吾理事長が挨拶し「我々も行政に対して登録基幹技能者を仕様書に明記するよう要望している。そのためには空白県をなくしていかなければいけない。これから必要になるのは資格であり、それが受注の機会を増やすチャンスだという認識をもって講習に臨んでほしい」と激励のことばを述べました。

この後の三日間にわたる講習では全鉄筋の技術・教育訓練委員の加藤欣司氏（東京鉄筋工事協会事務局長）らを講師として基幹技能者制度や関連法規、施工管理、品質管理、資材管理、原価管理、工程管理、安全管理、OJTなどについて説明が行われました。最終日には50問の修了試験も行われました。このほか、講師を務めたのは酒見莊二郎（シグマ技研社長）、田村晃一（田村工業専務）、長木鉄次（長木鉄筋社長）の各氏です。

今年6月末現在の登録鉄筋基幹技能者は全国で2340名。このうち近畿では大阪府249名、兵庫県68名、京都府11名、奈良県9名、和歌山県6名で、滋賀県がゼロとなっています。

